

入学試験過去問題

数 学

京都大学（理系）

対象年度：2018年

試験時間：150分

問題数：6問

配点：200点

第 1 問

0 でない実数 a, b, c は次の条件 (i) と (ii) を満たしながら動くものとする.

(i) $1 + c^2 \leq 2a$

(ii) 2 つの放物線 $C_1 : y = ax^2$ と $C_2 : y = b(x - 1)^2 + c$ は接している.

ただし, 2 つの曲線が接するとは, ある共有点において共通の接線をもつことであり, その共有点を接点という.

(1) C_1 と C_2 の接点の座標を a と c を用いて表せ.

(2) C_1 と C_2 の接点が動く範囲を求め, その範囲を図示せよ.

第 2 問

$n^3 - 7n + 9$ が素数となるような整数 n をすべて求めよ.

第 3 問

α は $0 < \alpha \leq \frac{\pi}{2}$ を満たす定数とし、四角形 ABCD に関する次の 2 つの条件を考える.

(i) 四角形 ABCD は半径 1 の円に内接する.

(ii) $\angle ABC = \angle DAB = \alpha$.

条件 (i) と (ii) を満たす四角形の中で、4 辺の長さの積

$$k = AB \cdot BC \cdot CD \cdot DA$$

が最大となるものについて、 k の値を求めよ.

第 4 問

コインを n 回投げて複素数 $z_1, z_2, \dots, z_n$ を次のように定める.

(i) 1 回目に表が出れば $z_1 = \frac{-1+\sqrt{3}i}{2}$ とし, 裏が出れば $z_1 = 1$ とする.

(ii) $k = 2, 3, \dots, n$ のとき, k 回目に表が出れば $z_k = \frac{-1+\sqrt{3}i}{2}z_{k-1}$ とし, 裏が出れば $z_k = \overline{z_{k-1}}$ とする. ただし, $\overline{z_{k-1}}$ は z_{k-1} の共役複素数である.

このとき, $z_n = 1$ となる確率を求めよ.

第 5 問

曲線 $y = \log x$ 上の点 $A(t, \log t)$ における法線上に、点 B を $AB = 1$ となるようにとる。ただし、 B の x 座標は t より大きいとする。

- (1) 点 B の座標 $(u(t), v(t))$ を求めよ。また、 $\left(\frac{du}{dt}, \frac{dv}{dt}\right)$ を求めよ。
- (2) 実数 r は $0 < r < 1$ を満たすとし、 t が r から 1 まで動くときに点 A と点 B が描く曲線の長さをそれぞれ $L_1(r)$, $L_2(r)$ とする。このとき、極限 $\lim_{r \rightarrow +0} (L_1(r) - L_2(r))$ を求めよ。

第 6 問

四面体 $ABCD$ は $AC = BD$, $AD = BC$ を満たすとし, 辺 AB の中点を P , 辺 CD の中点を Q とする.

- (1) 辺 AB と線分 PQ は垂直であることを示せ.
- (2) 線分 PQ を含む平面 α で四面体 $ABCD$ を切って 2 つの部分に分ける. このとき, 2 つの部分の体積は等しいことを示せ.